広報 かるまい10

平成27年（2015年） No.679

躍動

今月の主な内容

■マイナンバーをもっと知ろう …2～3
■総合戦略アンケート …8～11
■平成27年町消防演習 …12～13
■軽米秋まつり …14～15

10月から始まったマイナンバー制度

マイナンバーをもっと知ろう その3

マイナンバーは、10月中旬から皆さんのお宅に通知カードが簡易書留で送られ、個人番号カードの交付申請も可能になります。来年1月からはマイナンバーの利用が始められることになっています。今月号は、マイナンバーが必要になる手続きなどについてお知らせします。

マイナンバーが使われる手続きは？

マイナンバーは、社会保障や税の手続きなどの際に必要になりますが、マイナンバーの利用は法律で定められた事務と市町村など、地方公共団体が独自に条例で定めた事務に限られています。

マイナンバーの利用が開始される時点でマイナンバーを利用できる主な事務は表1のようになっています。

マイナンバーを教えてよい相手は？

皆さんが手続き先でマイナンバーを提示したり、書類への記入が必要になるのは、役場など、公的な機関や勤務先、あるいは一時的な報酬や謝礼などの支払いを受ける相手になります。

役場など、公的機関の手続きでは、表1でお知らせした事務での手続きになりますが、すべての事務で一斉に利用されるのではなく、平成29年7月までに段階的に利用されることになっていますので、手続きの際に窓口でお確かめください。

これに対して、勤務先との一時的な報酬や謝礼などの支払いを受ける相手には、平成28年1月からマイナンバーを提示する必要があります。28年中の収入に対する源泉徴収票などへのマイナンバーの記載などに必要になるためです。

勤務先などに届けたマイナンバーがどのような手続きに使われるかは表2をご覧ください。

個人番号カードが便利です

今年10月からマイナンバーをお知らせする通知カードが皆さんに送られることは、先月号でお知らせしました。しかし、役場などの公的機関や勤務先などにマイナンバーを伝える場合、通知カードの場合は、運転免許証など、本人を確認できる書類を同時に提示する必要があります。

これに対し、本人が申請して受け取る個人番号カードは、写真付きのため、それだけを提示すればよいことになっているほか、身分証明書としても利用できます。また、これまで発行されていた住基カードに代わって、インターネットでの電子申告にも利用できるようになっています。カードの有効期間は10年とされ、しばらくの間は、無料で交付されることになっています。個人番号カードの申請をぜひご検討ください。

マイナンバー制度の将来

マイナンバーを利用できる事務や手続きは、戸籍事務やパスポート申請、証券の分野、医療などの分野への拡大が検討されています。

情報漏えいなどへの対策を検証しつつ、マイナンバー制度の利便性が高められることになっています。

ご注意ください！！マイナンバー制度を悪用した詐欺事件などが発生しています

役場などの公的機関が、電話や訪問などでマイナンバーや預金口座の番号を聞き出そうとしたり、情報漏えいをもとに金銭を要求することなどは絶対ありません。不審な電話や訪問、手紙などを受けた場合は、相手の要求に従うことなく、すぐに警察や消費生活センター、役場にご相談ください。

○二戸警察署　☎２３－０１１０　○軽米駐在所　☎４６－２００４
○小軽米駐在所　☎４５－２１１０　○晴山駐在所　☎４７－２１１０
○二戸消費生活センター　☎２３－５８００　○軽米町役場　☎４６－２１１１　総務課・町民生活課

（表１）マイナンバーが使われる手続きが利用できる事務

社会保障分野	年金分野	⇒年金の資格取得・確認、給付に利用。 ○国民年金や厚生年金など、公的年金の事務 ※日本年金機構でのマイナンバーの利用は、当面見送られることになっています。 ○農業者年金事業の事務
	労働分野	⇒雇用保険などの資格・確認、給付に利用。ハローワークなどの事務に利用。 ○失業等給付、雇用安定事業、能力開発事業の事務 ○労働者災害補償給付保険の給付、社会復帰促進事業などの事務
	福祉・医療・その他の分野	⇒医療保険の保険料徴収など、医療保険者の手続き、福祉の給付、生活保護の実施など低所得者対策の事務などに利用。 ○児童扶養手当の事務 ○母子及び寡婦福祉法の資金貸付け、母子家庭自立支援給付金の事務 ○障害者自立支援給付の事務 ○特別児童扶養手当などの事務 ○生活保護の決定などの事務 ○介護保険給付、保険料徴収の事務 ○国民健康保険や社会保険、後期高齢者医療保険の給付や保険料徴収の事務 ○日本学生支援機構の学資貸与の事務 ○公営住宅、改良住宅の管理事務
税分野		⇒所得税などの確定申告や届出、調書などへのマイナンバーの記載。税の内部事務などに利用。
災害対策分野		⇒被災者生活再建支援金の支給事務などに利用。 ⇒被災者台帳の作成事務などに利用。
⇒社会保障や地方税、防災に関する事務のほか、それらに類似する事務で地方公共団体が条例で定める事務に利用。		

（表２）勤務先などでマイナンバーが利用される手続き

分野	主な利用手続きなど	利用開始日
税	○給与所得者の扶養控除等（異動）申告書 ○従たる給与についての扶養控除等（異動）申告書 ○給与所得者の保険料控除申告書兼給与所得者の配偶者特別控除申告書 ○退職所得の受給に関する申告書 ○公的年金等の受給者の扶養親族等申告書 ○給与所得などの源泉徴収票、給与支払報告書 ○報酬、料金、契約金及び賞金の支払調書 ○不動産の使用料等の支払調書　など	平成28年１月１日 提出分から
雇用保険	○雇用保険被保険者資格取得（喪失）届　など	
健康保険 厚生年金	○健康保険・厚生年金保険資格取得（喪失）届 ○健康保険被扶養者（異動）届 ○国民年金第３号被保険者関係届 ○健康保険厚生年金保険産前産後休業／育児休業等所得者申出書・終了届　など	平成29年１月１日 提出分から

事業者の皆さんも準備が必要です！

①どんなときに、他人のマイナンバーを取得できるのかの確認➡取得は法律に定められた場合だけ！
②どんな手続きで、マイナンバーを利用・提供することになるかの確認➡利用や提供も決められています！
③マイナンバーの書類やデータは、いつまで保管していいのかの確認➡保存期間経過後は、ただちに廃棄！
④情報漏えい対策など、どのような対策が必要なのかの確認➡パソコンのセキュリティ対策などが必要！
※１月からはマイナンバーを取り扱うことになるため、早めの準備が必要です。

希望郷いわて国体開催まであと１年！

46年ぶりのいわて国体

軽米町での開催は初めて

町民全体で盛り上げて記憶に残る国体にしましょう！

軽米では軟式野球競技

開催まで1年を切った希望郷いわて国体。軽米町では軟式野球競技が来年10月2日から4日まで開催されます。

軟式野球は、ゴムのボールを使うことを除けば、硬式野球と同じ。国民体育大会では各都道府県の代表32チームが優勝をめざし、トーナメント方式で対戦が行われます。

激しい打撃戦や華麗な守備、バッテリーと打者との駆け引き、さらにチャンスやピンチの時のチームの作戦など、見どころが盛りだくさんです。

町民全体で盛り上げよう

46年ぶりのいわて国体。そして軽米町で初めての国体。せっかくのこの機会を町民総参加で盛り上げましょう。

下記で募集しているボランティアはもちろん、開催中に全国から集まった選手たちを応援することも立派な国体参加です。それぞれ自分にあった参加の仕方で国体成功にご協力をお願いします。

全国の選手たちをおもてなしする ボランティアを募集

町民総参加でつくる国体を目指し、軽米町で開催される軟式野球競技のお手伝いをしていただけるボランティアを募集しています。

ボランティアの活動内容は来場者の受付や環境美化、会場設営などさまざまですので、自分にできることで参加し、46年ぶりのいわて国体を、一緒に盛り上げませんか。

選手に負けない、熱い思いを持った皆さんの応募をお待ちしています。

◆応募要件

軽米町に在住、在勤、在学している方で、活動日時点で中学生以上の方。または、軽米町内に活動拠点を有する団体。ただし、申し込み時点で高校生以下の方は保護者の同意が必要となります。

◆問い合わせ先

希望郷いわて国体軽米町実行委員会事務局（教育委員会事務局生涯学習グループ内）

☎46―4744

大崎幸男　会長

平成11年に町を襲った豪雨災害から16年が経過し、町自治公民館連絡協議会（大崎幸男会長）は9月26日、地域づくりや絆の大切さを思い起こそうと、夢灯りを行いました。

町内の各自治公民館のボランティア27人が集まり、午後1時30分から容器の清掃や設置、会場の設営などの準備を行いました。

午後5時からの開始式で大崎会長は「町は平成11年に豪雨災害を経験し、地域の絆、助け合いによって乗り越えた。15年が経過した昨年、自治公民館連絡協議会の事業として夢灯りを実施して、今年は2回目の開催となる。4年前の東日本大震災で、東北では今も仮設住宅で暮らしている方々もいる。災害はいつ起こるかわからないし、何年経っても忘れてはいけない。このイベントを通じて思い起こしてもらいたい」と挨拶し、災害の怖さとそれを乗り越えた町民の強さ、記憶を風化させないことを訴えました。

雪谷川の河川敷に並べられた約1100個の夢灯りが点火され、だんだんと辺りが暗くなると「2015夢灯り」、「軽米」の文字が浮かび上がり、集まったおよそ750人を幻想的な光で包みました。

会場では笹渡、市野々、向川原の公民館と晴高どんどん市場から郷土料理の試食コーナーも出店し、豚汁や串もち串コンニャクやせんべいの天ぷらなどが振る舞われ、秋の寒さが増してきた軽米の夜に心と体を温めました。

①、②お家の人や公民館長と一緒に点火
③会場を包むろうそくの柔らかな光
④、⑤公民館から振る舞われた郷土食を楽しむ来場者

マリーゴールドで書かれた「えがおでいこうよ」（つるがいいこいのガーデン）

花いっぱいコンクール

第27回花いっぱいビューティ軽米推進コンクールの審査会が、8月19日に行われました。同コンクールには、地域、学校、家庭、企業花壇の4部門に26組が応募。工夫を凝らした色鮮やかな花々が町内を彩りました。

地域花壇の部では鶴飼地区の「つるがいいこいのガーデン」、学校花壇の部では、軽米中学校が最優秀賞に輝きました。また、家庭花壇の部では荒川文子さん（長倉）の「荒川ガーデン」、企業花壇の部では町社会福祉協議会の「虹色のガーデン」が最優秀賞に輝きました。

表彰式は、フラワーアレンジメント講習会と合わせて開催される予定です。（結果は左表のとおり）

花いっぱいビューティ軽米推進コンクール審査結果（敬称略）

◆地域花壇の部
【最優秀賞】つるがいいこいのガーデン
【優秀賞】高柳・花の会
【優良賞】緑ヶ丘「憩いの園」、笹渡・花の会「レインボー」、東・花の会、沢田公民館環境部、長倉・花の道、車門地区花壇
【奨励賞】下円子老人クラブ花壇、沢里ファミリー花壇、宮沢地区花壇

◆学校花壇の部
【最優秀賞】軽米中学校花壇
【優秀賞】小軽米小学校・さわやか花壇
【優良賞】晴山小学校花壇、軽米小学校花壇、軽米高等学校PTA花壇

◆家庭花壇の部
【最優秀賞】荒川ガーデン（荒川文子、長倉）
【優秀賞】花満開（田代テイ子、沢田）
【優良賞】ユートピア（田村せつ、向川原）、一服（松浦ちか子、蜂ヶ塚）、ダリアがいっぱいの花畑（尾田川ユキ、上尾田）、四季の花園（山形せき、向川原）、我が家のステキな家族たち（田中セツ、笹渡）

◆企業花壇の部
【最優秀賞】町社会福祉協議会・虹色のガーデン
【優秀賞】町保健推進員協議会・健康ふれあいセンター前花壇
【優良賞】花の里かるまい・ご隠居様が楽しく集う花の里

町社会福祉協議会の「虹色のガーデン」は中庭だけでなく歩道沿いにも虹のように長～く広がっていました

荒川文子さんの花壇には色とりどりの花々がたくさん

軽米中学校の花壇は校舎の２階から全体が見渡せます

来年はぜひ、皆さんも参加しませんか？

公共交通出前講座

～もっとバスを利用しよう！～

バスや電車などの公共交通は、車を運転できない人にとってなくてはならないものです。公共交通の大切さを子どもたちにも知ってもらおうと小学生を対象に出前講座が開かれました。

町は、9月24日小軽米小学校、25日に晴山小学校と軽米小学校で公共交通出前講座を開きました。

特定非営利活動法人（ＮＰＯ）まちもびデザインの職員が講師となって、町を走るバスの紹介、なぜ公共交通が必要なのか、バスに乗るときのルールなどについて勉強しました。

子どもたちは、バスに乗るときに整理券を取ることや、運賃表の見方などを実際に体験しました。

晴山小学校では高齢者体験学習も兼ねてアイマスクやプロテクターを装着することで、自分の足や運転での移動が困難な高齢者にとって公共交通がいかに大切かを学びました。

バス会社によって押しボタンの形や音が違います

バスに乗るときは整理券を忘れずに

高齢者疑似体験で公共交通の大切さを実感

男女ともに軽米小が優勝

- 第５回町小学校駅伝大会 -

第５回町小学校駅伝大会（町小学校体育連盟主催）が９月16日、ハートフルスポーツランド特設コースで開催されました。町内３小学校から男女合わせて24チームが出場。１周約1・5キロのコースを1チーム４人でたすきをつなぎました。男子の部、女子の部ともに軽米小学校が優勝に輝きました。

オープン参加を含めた１２１人の選手は、各校の応援を背に、力走を見せていました。

駅伝大会上位結果（敬称略）

【男子】①軽米Ａ　②小軽米Ａ　③晴山Ａ
（個人賞）①福田　流星（小軽米小６年）
②増尾　海（小軽米小６年）
③関向　優真（軽米小５年）
【女子】①軽米Ａ　②小軽米Ａ　③軽米Ｂ
（個人賞）①内澤　明未（軽米小４年）
②鶴飼　穂香（小軽米小６年）
③浅水　あかり（軽米小６年）

町総体プレ競技 グラウンドゴルフを開催

ハートフル・スポーツランド多目的広場で９月５日、第37回町総体のグラウンドゴルフ競技が行われました。同競技は昨年度から正式競技への昇格を目指す交流大会として実施。今年は11チーム72人が参加して、緑の芝生の上でプレーを楽しみました。上位チームは次のとおりです。（○に数字は順位）

①上新町　②米田
③上舘連合

優勝の上新町チーム

総合戦略アンケート

町民

町の人口減少対策の方向性を示すための軽米町総合戦略。今月は町民の皆さん、在京軽米会の方々、高校生や新成人を対象に行ったアンケート調査の結果をご紹介します。（同誌で紹介する結果は一部で、全体は町のホームページに掲載予定です）

調査対象：町民
調査方法：住民基本台帳より20歳以上の町民907人を各世代ごとに無作為抽出
有効回答数：368件（40・5％）

人口減少についてどう考えますか？

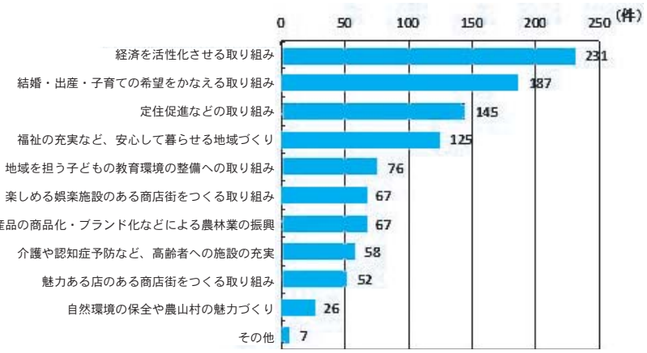
「人口減少はやむを得ないが、なるべく減少をゆるやかにすべき」が最も多く、回答全体の36・1％となりました。次いで「人口減少は望ましくなく、現在より増加するよう努力すべき」（28・3％）、「人口減少は望ましくなく、現在程度の人口維持を目指すべき」（26・1％）の順でした。

その他の回答には「減少は望ましくないが、安易な外部からの移住は、不要な社会保障費増加となる可能性が高くなる」、「減少しないように、たくさん子供を出産できて、お金に不自由なく子育てできるように町の方で援助してほしい」、「男子の独身者が多すぎる。子供が少ない。これらを解決しないかぎり人口増加なし」などがありました。

人口減少対策として重視すべき取り組みは？

最も多かったのは「経済を活性化させる取組み」の231件で、回答者数368人の62・8％にのぼった。次いで「結婚・出産・子育ての希望をかなえる取組み」（187件、回答者の50・8％）、「定住促進などの取組み」（145件、同39・4％）の順であった（図1参照）。

その他の回答には「雇用面が増えれば店や商店街が活性化し、すこしずつ人が増えていくと思う。また、町全体が活性化すれば高校を卒業して町から働きに出る人もすくなくなると思う」などの意見が出されました。



周りに結婚願望のある独身者はいるか？

「結婚したいと考えている独身者がいる」が58・7％、「いない」の38・0％を上回りました。

軽米町は結婚生活に適しているか？

「どちらとも言えない」が46・5％とおよそ半数を占め、「適している」（22・0％）、「適していない」（18・5％）を大きく上回りました。

「適している」、「いない」その理由は？

「結婚生活に適している」と答えた回答者には「両親等の親族が近くにいる」（69件）、「自然環境が良い」（70件）、「住まいがある」（73件）などの答えが多く見られました。一方で「適していない」と答えた回答者は理由として「交通の便が良くない」（57件）、「楽しめる場所が遠い」（53件）、「買い物する場所が遠い」（50件）などをあげていました。

その他の意見として、「適している」側では「保育園等に子供をあずける場合、親の負担が少ない」、「医療機関が近い」などがあげられ、「適していない」と答えた方々からは「働く場が少ない」、「都会と違って店も遠く、遊ぶ所も無く、お金も無いのに、車を買わないとどこにも行けない」、「いろいろわずらわしい」などの意見があげられました。

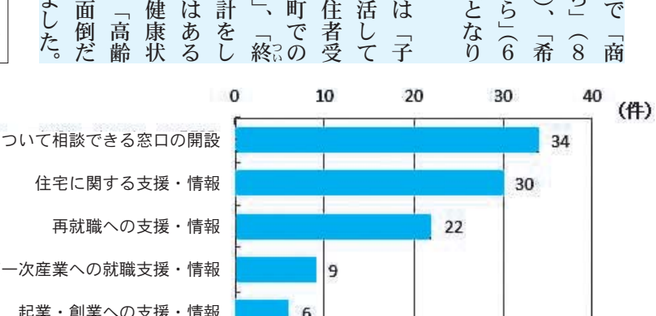
町は出産・子育てをするのに適しているか？

「どちらとも言えない」が53・0％と過半数を超えており、「適している」（23・9％）、「適していない」（18・8％）を大きく上回りました。

「適している」、「いない」その理由は？

「出産・子育てに適している」と答えた回答者は「両親等の親族が近くにいる」（77件）、「自然環境が良い」（76件）、「安心して子育てできる」（72件）をあげました。「適していない」と答えた回答者は「交通の便が良くない」（56件）、「楽しめる場所が遠い」（51件）、「買い物する場所が遠い」（49件）などをあげています。

その他の回答として「自然が多く空気がきれいで子育てには良いと思うが、学業の面で不安がある」、「保育園等に子供をあずける場合、親の負担が少ない」、「児童が少なく、周りのいろんな子供達と接する機会が、多いところと比べ、子供の経験を養うことについて不利益と感じる」などが出されました。



定住・移住者を増やすために必要な取り組みは？

回答が多かった順に集計した結果、最も多かったのは「正規雇用の拡大」の184件で、回答者数368人の50・0％でした。次いで「情報発信やサポート体制の充実」（168件、回答者の45・7％）、「商業施設の誘致などによる地域のにぎわいづくり」（113件、同30・7％）の順でした。

その他の回答として「衣・食・住の住について、先進的に取り組むべき」、「地域の基礎である農林業が発展しないかぎり若者は出て行き子供は生まれず人口は増えない」、「収入を得られる何かがあれば、出身者は戻ってくる確率が高いと思う」などがありました。

在京軽米会

調査対象：在京軽米会員
調査方法：会員152人にアンケートを依頼
有効回答数：59件（38・8％）

将来、町にUターンしたい？

「Uターンしたいと思わない」（43人）が最も多く、回答全体の72・9％と7割近くを占めた。次いで「どちらとも言えない」（10人、16・9％）、「Uターンしたいと思っている」（5人、8・5％）の順となりました。

Uターンしたい理由は？

最も多かったのは「軽米町に愛着があるから」、「兄弟や友人がいるから」で、ともに44件となっており、次いで「実家など住むところがあるから」（3件）であった。

Uターンしない理由は？

回答が多かった順に集計した結果、最も多かったのは「今の生活の方が便利だから」の27件で、回答者数178人の62・8％でした。次いで「商業施設等が少ないから」（8件、回答者の18・6％）、「希望する仕事が少ないから」（6件、同14・0％）の順となりました。

その他の回答としては「子どもたちもこちらで生活している」、「町・町民の移住者受け入れに対する考えや町での生活の利点などが不明」、「終の場所を決めて生活設計をしてしまっている。愛着はあるが、冬の寒さは現在の健康状態には負担が大きい」、「高齢になり、引越等含めて面倒だから」などがあげられました。

Uターン、Iターンに必要なサポートや情報は？

回答が多かった順に集計した結果、最も多かったのは「Uターンについて相談できる窓口の開設」の34件で、回答者数59人の57・6％であった。次いで「住宅に関する支援・情報」（30件、回答者の50・8％）、「再就職への支援・情報」（22件、同37・3％）の順となりました。

その他の回答として「若年層の方々・高齢化社会に対するサポートが十分か」、「介護保険料が高すぎる」、「特産品の改良→要研究、生鮮野菜等の都会の販売会社との直結、事業の開発研究が必要」などがありました。

総合戦略アンケート

高校生

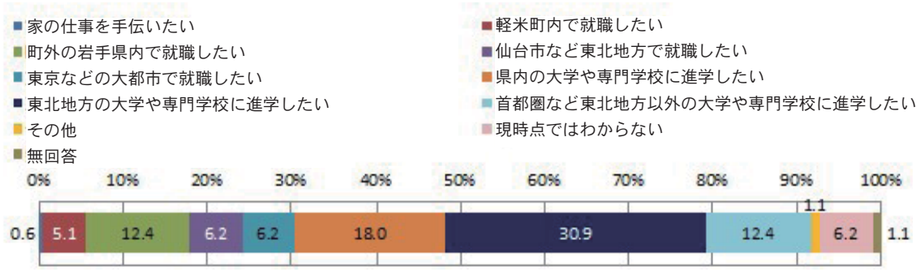
調査対象：軽米高校生
調査方法：高校を通じて生徒180人に回答を依頼
有効回答数：178件（98・9％）

卒業後に希望する進路は？

回答では「東北地方の大学や専門学校に進学したい」が最も多く、全体の30・9％を占めました。次いで「県内の大学や専門学校に進学したい」（18・0％）、「首都圏など東北地方以外の大学や専門学校に進学したい」、「町外の岩手県内で就職したい」（ともに12・4％）の順でした。進学希望の学生は回答全体の61・3％と約6割に達し、「県内外を問わず大学進学を希望する」というその他の回答も見られました。

町外に出た場合、将来町に戻ってきたいか？

「現時点ではわからない」が最も多く、回答全体の52・2％と過半数を超えていました。無回答を除くと、「大都市での就職後、退職したら戻りたい」、「大学や専門学校を卒業したら戻りたい」、「軽米町に戻りたいとは思わない」が7・9％で並びました。その他に、時期は未定ながらも「ある程度都市で働いてから、軽米に戻ってきて職につきたい」という回答もあがりました。



「戻ってきたい」理由は？

回答が多かった順に集計した結果、最も多かったのは「軽米町に愛着があるから」の20件で、回答者数37人の54・1％にのぼりました。次いで「環境の良いところで生活したいから」（16件、回答者の43・2％）、「地域の将来に貢献したいから」（14件、同37・8％）の順になりました。

その他として「家の仕事を継ぐため」、「軽米町の民昔話などを残していくため。研究を行うため」といった回答もありました。

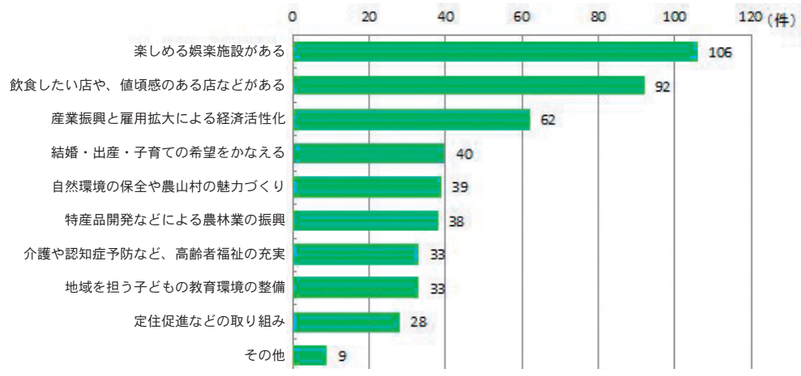
「戻ってきたくない」理由は？

回答が多かった順に集計した結果、最も多かったのは「商業施設等が少なく、にぎわいを感じられないから」の9件で、回答者数14人の64・3％であった。次いで「希望する仕事が無いから」（8件、回答者の57・1％）、「日常生活が不便だから」（5件、同35・7％）の順となりました。

町づくりに必要な取り組みは？

回答が多かった順に集計した結果、最も多かったのは「楽しめる娯楽施設がある」の106件で、回答者数178人の59・6％と、約6割になりました。次いで「飲食したい店や、値頃感のある店などがある」（92件、回答者の51・7％）、「産業振興と雇用拡大による経済活性化」（62件、同34・8％）の順となりました。

その他の回答として「季節に合ったイベントの企画運営」、「大きな宿泊施設」、「若者が好む施設」、「娯楽施設、教育環境を整えてほしいが、自然や昔ながらのまつり、仕事、伝統は無くさないでほしい」などがあげられました。



新成人

調査対象：平成27年町成人式に出席した新成人
調査方法：式典出席者95人に回答を依頼
有効回答数：73件（76・8％）

あなたは学生？就職している？

男性では「就職している」が最も多く38・9％、女性は「大学生」の45・9％が最も多い回答となりました。

専門学生などを含めた進学率は、男性61・1％、女性75・7％と女性の方が高くなっています。

あなたが現在住んでいるところは？

男女とも「岩手県内」（男性30・6％、女性29・7％）がほぼ同じ割合で最も高い回答となりました。「軽米町内」（男性22・2％、女性27・0％）と「青森県内」（男性11・1％、女性16・2％）では女性の方がわずかに回答率が高くなっています。

学生の卒業後の進路は？

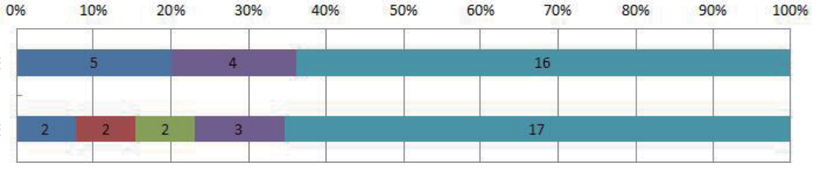
男女ともに「町外の岩手県内」が男性54・5％、女性46・4％と最も高く、「軽米町内で就職」（男性4・6％、女性14・3％）と「仙台など東北地方」（男性13・6％、25・0％）は女性の方が回答率が高くなっています。

現在町に住んでいない方は将来戻りたい？

男女ともに「現時点ではわからない」が男性64・0％、女性65・4％と最も高くなっています。「町外で就職後、退職したら戻りたい」と回答したのは男性20・0％に対し、女性7・7％となっています。

「町に戻りたい」を選んだ理由は？

男性の回答では「軽米町に愛着があるから」と「地域の将来に貢献したいから」がともに60・0％と同数で最も高く、女性の回答では「軽米町に愛着があるから」が83・3％と最も高い回答となりました。



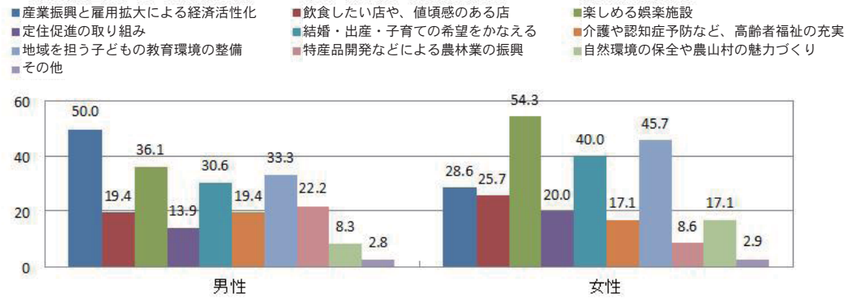
「町に戻りたいと思わない」を選んだ理由は？

男性では「希望する仕事がない」が75・0％と最も多く、女性は「軽米町に愛着がない」、「通勤・通学に都合がよくない」がともに66・7％となっていました。

魅力的なまちづくりに必要な取り組みは？

男性側で多かった回答は「産業振興と雇用拡大による経済活性化」、次いで「楽しめる娯楽施設」、「地域を担う子どもの教育環境の整備」でした。一方女性側は「楽しめる娯楽施設」が最も多く、次いで「地域を担う子どもの教育環境の整備」、「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」の順となりました。

今回紹介したアンケートの結果や町総合戦略策定員会での議論、町議会議員の皆さんや町百人委員会の委員の皆さんからいただいた意見をもとに、軽米町総合戦略は、10月末に策定されます。来月号では策定された戦略の概要についてお知らせします。



日ごろの訓練の成果を披露

平成27年度 町消防演習

軽米町消防演習は９月20日、軽米中学校グラウンドを主会場に行われました。町消防団（山舘松五郎団長）と町婦人消防協力隊連絡協議会（松山美子会長）あわせて約380人が参加し、日頃の訓練の成果を披露。町内外からの観覧者に防火への決意を示しました。

９月20日、午前６時のサイレンと同時に町内27地域の消防団が軽米中学校のグラウンドをめざし一斉に出動し、平成27年度の町消防演習が幕を開けました。

表彰では、消火活動協力者と防火水槽の用地提供者へ町長から感謝状が贈られたほか、県消防協会二戸地区支部長表彰が功労消防団員へ授与されました。

山舘団長は「私たち消防団は、さまざまな本業を持ちながら、消防・防災に関する知識や技術を習得し、生まれ育ったこの郷土を愛し、災害から町民の生命・身体財産を守るという使命に燃え、勇敢かつ献身的に日々任務の遂行にあたっています。本日は、日ごろの訓練の成果を十分に発揮していただきたい」と訓示を述べました。

式典終了後は、観閲や車両点検に続いて、婦人消防協力隊による消火器を使った初期消火訓練や町の操法競技会で優勝した８分団１部と同３部による操法訓練、足並みをそろえた部隊訓練などで、参列者らに防火意識の高さと団結力の強さを示しました。

中学校での訓練を終えると、町中心部を分列行進が始まりました。山舘団長を先頭に、消防団員、婦人消防協力隊、小玉川少年消防クラブ、消防車27台が回転灯を回しながら続きました。

仲町裏手の雪谷川河川敷での放水訓練では、行進を終えた消防車が河原に並び、一斉放水と一斉着色放水を行いました。色とりどりの水が上がると沿道の観客からは大きな歓声が上がりました。

閉会式では講評官の千田利之（ゆきし）岩手県消防学校長が「極めて優秀」と講評し、町消防組織の質の高さを称えました。

訓示を述べる山舘団長

軽米町長感謝状贈呈者（敬称略）

消火活動協力者
南建設株式会社
用地提供者
大内蔵　久（ひさし）
中野　孝（たかし）

①

②

③

④

⑤

①軽米小学校の校庭から中学校へと行進
②婦人消防協力隊による消火器を使った初期消火訓練
③町の操法競技会で優勝した２つの部による操法披露
④行進の息をそろえる指揮の取れたラッパ隊
⑤町中の消防車が一列に並んで走行する分列行進はまさに壮観

ちびっ子も防火を誓う

小玉川少年消防クラブは、軽可搬（けいかはん）ポンプ操法演技を披露しました。放課後を利用して礼式や操法訓練を重ねてきたクラブ員は、消防団員顔負けのてきぱきとした動きで標的に放水。標的が倒れると、会場から大きな拍手が送られました。

続いて晴山ちびっ子幼年消防クラブが特別演技を披露。可愛らしいダンスで消防演習を盛り上げていました。

また、両消防クラブ員の代表により、防火宣言が行われ、「いつでもどこでも火遊びはしません」と力強く誓いました。（左写真右から井戸渕拓巳（たくみ）くん、古舘匠馬（しょうま）くん、南杏那（あんな）ちゃん）

▲「火遊びはしません」と元気良く防火宣言

▲お父さん、お母さんと一緒にダンスで盛り上げました

▲立派な操法演技を披露する未来の消防団員

軽米秋まつり

— 写真特集 —

笛や太鼓の音が響き渡り、９月19日～21日に開催された「軽米秋まつり」は３日間で延べ30,000人を集めました。
笑顔あふれる軽米の秋の風物詩、軽米秋まつりの様子を写真でレポートします。

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

⑪

⑫

①、②出る人も見る人もみんなが笑顔の秋祭り
③軽米小学校のマーチング
④、⑤子どもたちも山車を引っ張りながら威勢のいい掛け声を飛ばします
⑥神輿渡御の先頭をゆく猿田彦命
⑦、⑧笛の音に合わせて踊りを踊ったり山車を引いたり
⑨沢田神楽には大人に負けじと獅子を掲げる子どもの姿
⑩山内神楽の盆舞は勇ましく
⑪南部駒踊りは大人数ならではの迫力
⑫お母さんに手を引かれ、流し踊りに参加

色鮮やかに飾られた山車をご紹介

荒町光栄団

風流　女（おんな）自来也（じらいや） 鬼神のお松

大町協誠団

西遊記「芭蕉扇（ばしょうせん）を求め 牛魔王と対峙」

新町大正団

西遊記

本町新栄団

歌舞伎十八番「鳴神（なるかみ）」
盟（ちか）い破れて鳴る雷（いかづち）となる

上新町

知盛怨霊顕（ともももりおんりょうあらわ）る

蓮台野芙蓉団

南部山車　風流　像引（ぞうひき）

◆皆さんの地域の話題や情報をお待ちしています。
総務課広報担当（☎４６－２１１１・内線２０６）までご連絡ください

小さな親切

実行章を手に笑顔の生徒たち

軽米中学校で９月16日、「小さな親切」実行章贈呈式が行われました。「小さな親切」運動県本部（高橋真裕代表）からの実行章を代表で受け取った１年生の松橋優人くんは「これからもボランティアや復興支援に取り組んでいきたい」と気持ちを表しました。同校の１年生は７月10日に復興教育学習として普代村の普代水門を見学。普代浜の清掃活動も行い、その活動が認められ実行章が贈られました。

みんなで英語力ＵＰ！

軽米町児童生徒英語発表会

町教育委員会は９月２日、町児童生徒英語発表会を町立軽米小学校で開催しました。小学生は英語で特技を紹介したり劇を披露し、中学生・高校生はきれいな発音で暗唱や弁論を行いました。小・中・高の児童生徒が一緒に英語を発表する場は県内でも珍しく、教育委員会では「上級生は下級生に伝える気持ちで、上級生の発表を観賞することで、双方の英語力の向上につながれば」と期待しています。

小軽米小学校の６年生は英語で町の名所や特産品を紹介しました

愛情込めて育てた一頭

町畜産共進会

町畜産共進会が９月26日、新岩手農協軽米地区担当課特設会場で行われました。町内の畜産農家が丹精込めて育てた自慢の愛牛53頭が参加。関係者が見つめる中、月齢など６部門に分けた牛を審査員が体形や毛並み、肉つきなどを審査しました。最高賞である名誉賞には、若雌牛の部で平内徳道さん（市野々）の「かなえ号」、繁殖雌牛の部で畑林悦男さん（屋敷）の「かねふく号」がそれぞれ選ばれました。

手塩にかけた牛たちが、ズラリと並びました

生産者の方に感謝しながらいただきました

「かるまい」をいただきます！

オール軽米産給食の日

町教育委員会は９月４日、給食に軽米産食材のみを使用したオール軽米産給食の日を実施しました。雑穀ごはんや軽米産黒毛和牛の牛丼などすべてが軽米産。晴山小学校では生産者の細谷地涼太さんと江刺家久志さんも児童と一緒に給食を味わいました。畠山敏校長は「生産者の方と食材に、心を込めた『いただきます』と『ごちそうさま』をしましょう」と食への感謝を子どもたちに伝えました。

昭和60年10月31日姉妹提携

音更町だより

１回目の「こぎん刺し教室」が生涯学習センターで開かれ、青森県津軽地方に伝わる伝統的な刺し子に１０人が挑戦しました。谷節子さんの指導の下、参加者は布の織り目を数えながら一針一針刺繍糸を刺し、美しい模様を作っていました。

一針一針、ていねいに

大きなトウモロコシを収穫し満面の笑み

おいしい理由は研究の成果

軽米地区県公所一般公開デー

軽米地区県公所（県北農業研究所、軽米普及サブセンター、県北家畜保健衛生所）では９月４日と５日に同所の役割や研究成果を広く知ってもらおうと一般公開を行いました。平日の初日は、ほうれんそうや雑穀の公開セミナーや畑地かんがい実演会、土曜日の２日目には雑穀ピザづくりや親子収穫体験などが催され、２日間の来場者数は延べ466人と盛況の様子を見せていました。

表現力豊かに発表する土佐さん（左）と横澤さん（右）

いま伝えたいこと

わたしの主張二戸地区大会

第17回わたしの主張二戸地区大会（同実行委員会主催）が９月１日、軽米中学校を会場に開催されました。当町からは軽米中学校の土佐慈さん（２年）と横澤朱音さん（３年）が出場し、横澤さんは見事優秀賞に輝きました。最優秀賞は福岡中学校３年の久保田澪さん。久保田さんは「気持ちが入って練習よりも上手にできた。県大会には絶好調で臨みたい」と決意を新たにしていました。

生活習慣病を防ぐには!?

夜の健康教室

長倉生活改善センターで９月１日、健康福祉課が夜の健康教室を開催しました。県立軽米病院の横島孝雄院長を講師に招き『生活習慣病を予防する』と題した講演を行いました。横島院長は「メタボリック症候群は脳卒中を誘発しやすくなります。標準体重などを意識しながら、高校卒業後の体重を７ｋｇ以上増やさないよう常に気をつけましょう」と早めのメタボ予防を説きました。

院長先生の分かりやすい講演を食い入るように見つめる参加者

笑顔あつまれ！　みんなの広場

キラキラ光る

小さいころから本が好きでした

坂本　真知子（まちこ）さん
（24歳、下円子上組）
身長159㌢、B型
町立図書館

町立図書館で図書館支援協力会の職員として本の貸し出しや修復、読み聞かせなどを行っている坂本さん。

Q、今の職業を選んだ理由は？また、実際にやってみてどうですか？

小さいころから本が好きだったので図書館で働きたいと思いました。実際に働く中で、小・中学生がおすすめの本を読んでくれて、感想を教えてくれるのがとてもうれしいです。

Q、趣味や休日にやることは？

映画鑑賞や読書をしていることが多いです。

Q、あなたの夢は？

全都道府県を旅行してみたい。

Q、町をどう思いますか？

かるまいテレビでいろいろな行事を見れておもしろいです。前回の様子や雰囲気が分かるのがいいです。

▼好きなスポーツ…バレー（観戦）
▼好きな色…青
▼好きな食べ物…くだもの類
▼今ほしいもの…フードプロセッサー
▼今の悩みは？…視力の低下
▼理想の異性のタイプ…一緒にいて落ち着ける人、楽しい人。芸能人だと濱田岳さん。

今月の俳句（北光吟社8月例句会）

蕎麦（そば）の花休耕田（きゅうこうでん）を埋（う）めつくし　中野　とき子
都合（つごう）よく小言（こごと）かき消すはたたがみ　川﨑　郁子
帰省子（きせいし）のまたも背丈（せたけ）の伸（の）びしこと　千葉　ふみ子
池のふち今かと餌待（えさま）つ金魚（きんぎょ）かな　君成田　美代子
笑ひ呼ぶ相撲（すもう）甚句（じんく）の爽（さわ）やかに　三上　千栄女
土用丑（どよううし）今年は二度のうなぎかな　丹下　美恵子
挨拶（あいさつ）は喜雨待つ人の口々（くちぐち）に　千葉　紅園
揚花火（あげはなび）空のかたえの月明（つきあ）かり　松村　英子
亡き母の齢（とし）を越（こ）しての門火（かどび）かな　川島　由蔵
夕涼（ゆうすず）み遊ぶ児（こ）の影（かげ）濃くなりし　中田　紀子
古着（ふるぎ）きせ夫婦案山子（めおとかかし）のほのぼのと　早川　慶子

※町文化協会「北光吟社」の例句会より俳句を紹介しています

達成感のマラソン大会

9月14日、私たちの学校で校内マラソン大会が行われました。

今年は、高学年になったので、きょりが2キロメートルから3キロメートルになりました。私は3キロメートルを走るのは初めてで、完走できるかとても心配でした。正直、私は運動がきらいなので、走りたくないなぁとも思いました。でも、今年こそは体力をつけようと決心したので、頑張ろうと思いました。

スタートしてすぐ、おなかがいたくなりました。足もいたかったし、本当に走れるか不安でしたが、地域の人や低、中学年の人たちが応えんしてくれたので、がんばって走りきりました。

記録は、19分44秒で、29位でした。目標の20分以内で走れたし、30位以内にもなれたのでとてもうれしかったです。とても達成感があり、完走できて本当に良かったです。来年は、今年のタイムより速く走れるようにがんばりたいです。

大会は終わりましたが、来年もっと速く走れるようになるためにも、これからも進んで運動をし、体力をつけたいです。

■夢・希望・えんぴつ■

小軽米小学校５年
玉舘　七花（ななか）さん
（屋敷）

平成27年度軽米町敬老会

～町内でも様々な敬老イベント～

町民体育館で9月19日に行われた軽米町敬老会には、町内の80歳以上の方々270人が集まりました。

傘寿を迎えられた150人を代表して菅原清一（せいいち）さん（車門）が、米寿を迎えられた79人を代表して堀米キミさん（本町）がそれぞれ、町からのお祝い状と記念の品を受け取りました。また、町社会福祉協議会から記念品の杖が贈られ、代表して舘下ハギさん（高家）が受け取りました。参加者を代表して川原木賢一（けんいち）さん（車門）が「今後も町の発展のために力を尽くしたい」と謝辞を述べました。

敬老の日に合わせて、9月は町内の社会福祉施設などでも敬老会や敬老週間が開かれました。施設の利用者は披露された歌や踊り、参加型のゲームを笑顔で楽しみました。

▲元気に転倒予防体操を行う参加者

▼ふれあいセンターの敬老週間では
日替わりで歌や踊りが披露されました

『軽米の埋もれし宝』は休載します。

生活安全の森

二戸警察署軽米駐在所（☎４６－２００４）

～県内の交通死亡事故が激増中～

県内の交通死亡事故は近年になく増加しており、特に高齢の犠牲者が非常に多くなっています。

死亡事故の主な特徴は次の３点です

①高齢の犠牲者が多い。
②人対車両の事故が多い。
③日没後や夜間の発生が多い。

【夜間の外出に注意】
・・・夜光反射材の活用を！

・夜間、特に黒っぽい服装をしているとドライバーに見落とされやすく、道路横断中などに、車にはねられる危険があります。
・夜光反射材はカバン、バック、クツなどにつけると非常に効果的です。

夕暮れ時の外出は、夜光反射材を効果的に活用して交通事故に遭わないように気を付けましょう。

８月の事故と救急の数字

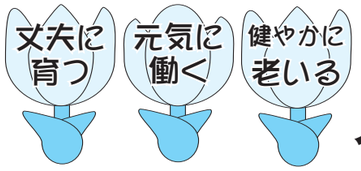
▶町内の交通事故、救急車出動回数

	当月	累計	昨年比
人身事故	１件	３件	－５
死亡者	０人	０人	±０
負傷者	１人	３人	－５
物損事故	７件	100件	－４
救急車出動回数	31回	308回	+26

▶今月の飲酒運転検挙者はありません

※（累計）は１月からの合計です。見直しにより前月の数値と異なる場合があります。

軽米町の交通死亡事故０は、９月末で１４５９日です。



健康福祉課（☎４６－４１１１）

インフルエンザを予防しよう

健康福祉課
保健師長
日向　安子

インフルエンザは一般的な風邪とは違い、ウィルスに感染することで38度以上の高熱、悪寒（ぞくぞくする寒気）、全身の関節痛などの症状が急にあらわれます。

子どもや高齢者など、抵抗力の弱い人にとっては、命にかかわる危険な病気でもあります。また、感染力が強く学級閉鎖などのニュースが毎年きかれます。

働き盛りの年代でも、インフルエンザになると周囲に感染を広げないために仕事を休まなければならない期間が発生します。みなさんでしっかり予防をしていきましょう。

手洗いうがい、充分な睡眠、食事をきちんととることはからだの抵抗力をつけることにつながりますので、インフルエンザの時期に限らず日ごろから身につけておきたい生活習慣です。

また、インフルエンザの予防接種をおすすめします。注射をすることで100%感染しないわけではありませんが、感染しても重症になることを防ぐことができます。

インフルエンザ予防接種料金の補助対象の方には通知書をお届けします。対象でない方も自分と周りの人たちのために接種をお勧めします。

生活習慣アンケートなどの調査にご協力ください

国立がん研究センターと岩手医科大学は、日本人の生活習慣などが、ガン・脳卒中などの生活習慣病とどのように関わっているかを調べる調査を行います。

【調査の内容と方法】
・40歳から74歳までの全町民のご自宅へ町保健推進員がアンケート用紙と調査への同意書を届けます（11月16日以降にお届けする予定です）。ご協力いただける方は、回答と署名をした後で町保健推進員へ手渡すか、返信用封筒でご返送ください。
・調査にご協力いただいた方のうち、今年度の特定健診で採血を行っていない方は、会場と日程をご案内しますので、血液の提供にご協力ください。

※調査にご協力いただいた方には特典として1,000円分の地域振興券を郵送いたします。
※調査研究へのご協力は強制ではありません。

詳しくは国立がん研究センター次世代多目的コホート研究事務局（☎０１２０－２２０－５１０）にお問い合わせください。

目指そう！はつらつ人生

地域包括支援センター（☎４６－４１１１）

はつらつ教室（口腔・栄養編）開催！

８月27日から『はつらつ教室（口腔・栄養編）』が開催され、現在、軽米中央公民館と小軽米生活改善センターで実施しています。今回は２回目のはつらつ教室について紹介します。

講師は、堀米歯科医院の遠藤美保子先生と県歯科衛生士会の小野寺圭子先生、南幅久美子先生の３人です。

始めに遠藤先生から「かむ力、飲みこむ力」についてのお話があり、その後にかむ力や飲みこむ力の測定を行いました。また、お口の機能を高めるゲーム（的あて、ストローボーリングなど）や体操（食事の前の準備体操、唾液腺マッサージ）を楽しみながら行います。

お口の機能を高めることは、食事を美味しく食べることができたり、かむ力や飲みこむ力を高め、食事の際のむせを予防することにつながるため、とても大切なことです。参加者からも歯みがきや入れ歯の手入れの仕方などたくさんの質問が出てお口の健康について学びを深めています。

この教室は10月から晴山公民館でも実施します。詳しくは、軽米町健康福祉課（☎４６－４１１１　※健康ふれあいセンター内）までお問い合わせください。

ゲームをしながら楽しくお口を動かしました

図書館だより

町立図書館（☎４６－４３３３）

ー今月の新刊ー

【児童書】

カメくんとアップルパイ

（アリス館）

作/谷口智則

今日は、サルくんのおたんじょうびパーティー。お祝いのアップルパイを作るため、みんなで材料を持ち寄ります。あれ、カメくんは間に合うかな？

ダンボールで作るおもしろ自動販売機

（ブティック社）

監修/大野萌菜美

お菓子やペットボトルの自動販売機、回すとカプセルが出てくるガチャガチャなどダンボールを使った自動販売機の作り方をわかりやすく紹介。おもしろい仕掛けが盛りだくさん！

【一般書】

しろくまミルク

（KADOKAWA）

姿勢よく歩く姿や表情が“人みたい！”と話題を呼ぶ、釧路市動物園のしろくまミルクの写真集。浮き球で遊んだり、筒状のおもちゃをかぶってどや顔したり…癒される姿が満載です。

残業税

（光文社）

著/小前亮

残業すれば会社も従業員も税金をとられる「残業税」が導入された。しかし、脱税を試みる手合いは跡を絶たず…。従業員の救済と職務の全うを目指し、凸凹コンビが奮闘する連作ミステリー。

今月の図書館ひろば

日時：10月24日 10：00～11：00　対象：幼児
場所：図書館となりの蔵　小学校低学年

町のこよみ・かるまいカレンダー

10月　October

16	金	
17	土	
18	日	食フェスタinかるまい【ハ】10：00～15：00
19	月	
20	火	転倒予防セミナー【公】13：30～15：30
21	水	１歳児教室【ふ】13：00～13：30
22	木	はつらつ教室【晴山公民館】11：30～13：30 うまっこ教室【ふ】9：30～12：00
23	金	
24	土	図書館ひろば【図】10：00～ 町民文化祭　ステージ発表会【公】13：00～
25	日	休日と夜間の納税相談【税務会計課】（～27日）
26	月	
27	火	教育相談【公】9：00～15：00
28	水	
29	木	はつらつ教室【晴山公民館】13：30～15：30
30	金	食生活改善推進員養成教室【ふ】9：30～14：30 町民文化祭　幼小中高作品展示【図】9：00～17：00
31	土	

11月　November

1	日	町民文化祭展示部門【公・図】9：00～17：00（～３日）
2	月	町税の納期限（町県民税第３期、国民健康保険税第４期）
3	火	
4	水	乳児健診
5	木	**はつらつ教室【晴山公民館】13：30～15：30**
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	
10	火	はつらつ教室【米田農耕センター】10：00～11：30、【高家生活改善センター】13：30～15：30 K′sキッチン（公開バランス弁当試食会）【ふ】12：00～13：30
11	水	男の料理教室【ふ】9：30～12：30
12	木	うまっこ教室【ふ】9：30～12：00
13	金	
14	土	転倒予防セミナー【公】13：30～15：30
15	日	休日と夜間の納税相談【税務会計課】～17日 町総体バレーボール競技【体】8：30～

（カレンダー中の【　】は開催場所で下記のとおり表示します）
体:町民体育館　環:農村環境改善センター　公:中央公民館
図:町立図書館　病:県立軽米病院　ふ:健康ふれあいセンター
老:老人福祉センター　フ:雪谷川ダムフォリストパーク・軽米
ミ:ミレットパーク　歴:歴史民俗資料館　ハ:ハートフル・スポーツランド　運:町営運動場　ゲ:ゲートボール場

お知らせ情報 Information

もっと知ろう みんなの国民年金

国民年金保険料は社会保険料控除の対象です！

納められた国民年金保険料は、社会保険料控除としてその年の課税所得から控除され、皆さんの税額が軽減されます。

対象となるのは、平成27年中に納めた保険料の全額で、過去の納め忘れを納付した分や追納した保険料も含まれます。ご家族の保険料も支払っている場合、その分も控除の対象です。

控除を受けるには、年末調整や確定申告を行うときに、領収証書など保険料を納めたことを証明する書類の添付が必要です。

９月までの間に国民年金保険料を納めた方には、11月に「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」が送付されます。申告書の提出の際は必ずこの証明書か領収証書を添付してください。

※10月１日から12月31日までの間に今年初めて国民年金保険料を納められた方へは、翌年の２月に送付されます。

詳しくは、二戸年金事務所（☎２３－４１１１）、国民年金保険料専用ダイヤル（☎０５７０－０１１－０５０）、役場町民生活課（☎４６－４７３４）にお問い合わせください。

内科(9:00～17:00)　休日当番医　歯科(9:00～12:00)

ふくもりたこどもクリニック　（☎43-3137）	一戸町一戸	10月18日（日）	沢藤歯科医院　（☎25-4002）	二戸市堀野
二戸クリニック　（☎25-5770）	二戸市石切所	25日（日）	関歯科医院　（☎38-2937）	二戸市浄法寺
すがわら消化器内科　（☎23-2879）	二戸市福岡	11月１日（日）	森川歯科　（☎23-6361）	二戸市堀野
金田一診療所　（☎27-2205）	二戸市金田一	３日（火）	曽根歯科医院　（☎27-3108）	二戸市金田一
むらかみ医院いたみのクリニック　（☎48-1500）	軽米町岩崎	８日（日）	国香歯科医院　（☎23-2223）	二戸市福岡
よこもり眼科クリニック　（☎22-2230）	二戸市堀野	15日（日）	ますだ歯科クリニック　（☎26-8282）	二戸市石切所

（広告スペース）

※広報かるまいでは、町内の業者などの広告を掲載しています

役場庁舎と農村環境改善センターの改修工事を行っています

町では現在、役場庁舎と農村環境改善センターに地中熱暖房システムを設置するための改修工事を行っています。避難所にも指定しており、災害時の暖房の確保などのために行う工事で、工期は平成28年３月31日までの予定です。その間は地域整備課車庫前の職員駐車場が使用できません。庁舎正面の駐車場をご利用ください。

事務室の工事は順番に行うので、各課の業務は右の日程で農村環境改善センターで行われます。

移動する期間	移動する課
平成27年11月15日～12月12日	総務課、産業振興課、教育委員会事務局、農業委員会事務局、選挙管理委員会事務局
平成27年12月15日～平成28年１月30日	税務会計課、町民生活課
平成28年２月３日～２月28日	地域整備課、議会事務局、水道事業所

【問い合わせ先】総務課（☎４６－４７３８）

両立支援等助成金のご案内

次のような場合に事業主や自業種団体を支援する『両立支援等助成金』制度があります。

・育児休業者の代替社員を雇用した場合
・期間雇用者の育児休業修了者が出た場合
・育児復帰プランナーの支援を受け、育休復帰支援プランを作成や実施し、育児休業者を復帰させた場合
・事業所内に保育施設を設置や運営した場合

※詳しくはお問い合わせください。

【問い合わせ先】岩手県労働局雇用均等室（☎０１９－６０４－３０１０）

ひとり親家庭などへの特別（法律）相談

■日時　10月22日（木）
　　10：00～15：00
■場所　県北広域振興局二戸地区合同庁舎
■対象　ひとり親家庭、寡婦など
■内容　離婚や養育費など日常生活で困っていること
■費用　無料

【問い合わせ先】県北広域振興局二戸保健福祉環境センター（☎２３－９２０２）、（一社）岩手県母子寡婦福祉連合会（☎０１９－６２３－８５３９）

無料調停相談会

■日時　11月１日（日）
　　10：00～16：00
　　（受付は15：30まで）
■会場　二戸市農村勤労福祉センター

【問い合わせ先】二戸調定会（☎２３－２５９１）

NPO法人の運営に係る基礎講習会

■日時と場所
　11月12日（木）
　久慈地区合同庁舎
　12月15日（火）
　盛岡市アイーナ
　両日とも13：00～17：00

NPO法人会計講座

■日時と場所
　平成28年２月３日（水）
　盛岡市アイーナ
　13：00～16：00
■申し込み方法
　『基礎講習会』『会計講座』とも県ホームページ（http://www.pref.iwate.jp/npo/fukkoushien/038616.html）で申込用紙をダウンロードし、ＦＡＸかＥ－ｍａｉｌで申し込みください。

【申し込み・問い合わせ先】特定非営利活動法人シニアパワーいわて（FAX：０１９－６２６－００９８、E-mail：zensyo.n@gmail.com）

第７回拓陽祭

■日時　11月14日（土）
　　９：20～15：00
■場所　久慈拓陽支援学校
■内容　作品展示
　　９：20～15：00
　　ステージ発表
　　９：20～12：00
　　製品販売・バザー
　　12：00～14：00

【問い合わせ先】県立拓陽支援学校（☎０１９４－５８－３００４）

カシオペア連邦合唱祭

■日時　11月８日（日）
■開場＝13：00、開演＝13：30
■場所　二戸市民文化会館
■内容　カシオペア連邦内合唱団の歌唱と児童生徒の歌唱
■入場料　500円　中学生以下無料

【問い合わせ先】カシオペア連邦合唱連盟事務局（☎２７－２３８９）

二戸地区広域行政事務組合議会定例会

■日時　10月19日（月）
　　10：00～
■場所　二戸地区広域行政事務組合会議室
■内容　消防、介護保険、し尿処理、ごみ処理など管内４市町村での共同処理事業についての質疑

※傍聴できます。詳しくはお問い合わせください。

【問い合わせ先】二戸地区広域行政事務組合事務局（☎２３－７７７２）

健康増進ボウリング教室

■日時
　11月２日（月）10：00～13：30～
　４日（水）20：00～
　６日（金）10：00～
　７日（土）13：30～
　各コースは曜日ごとに全５週
■会場　ゆりの木ボウル

※受講料は無料、初回のみテキスト代と傷害保険料として500円がかかります。

【問い合わせ先】ゆりの木ボウル（☎０１７８－４５－１０２２）

広報 かるまい 10
平成27年 10月号 (No.679)

音更町との姉妹締結30周年記念
両町産ホップと小麦使用のコラボビール発売中！

軽米町産のホップと

音更町産小麦が

手を取り合って…

おいしいビールができました！

北海道音更町と軽米町との姉妹町締結が今年で30年を迎えたことを記念して、町産のホップと音更町産の小麦を使用したコラボレーションビールが発売になりました。

町産ホップの特徴である華やかな香りと、音更町産小麦のコクのある口当たりを生かした味わいを、ビール好きの方はもちろん、普段はあまりビールを飲まないという方もぜひ一度お試しください。

記念ビールは町内の酒類取扱店などで販売されています。数量限定ですので、興味を持たれた方はぜひお早めにお買い求めください。

冠婚葬祭８月分＜敬称略＞

おめでた
（ ）内は父母の名

仲軽米　皆川 珠和（浩二・美幸）
沢里　三上 蒼輔（大輔・佑喜子）
仲町　清藤 隼人（達教・千春）

おしあわせに

近藤 秀行（二戸市）
長谷川 陽子（高清水）

須藤 勝太（上新町）
林崎 智子（久慈市）

おくやみ
（ ）内は享年

松ノ脇　上坂 浅男（82歳）
向高家　田代 カス（93歳）
岩崎　小倉 ツヤ（74歳）
向川原　野中 武（78歳）
貝喰　附柳 アイ（73歳）
蜂ヶ塚　松浦 フヂヱ（79歳）
下円子下組　浅水 定吉（89歳）
荒町　大島 定（85歳）
高柳　高柳 鉄五郎（69歳）
桜山　奥 三男（65歳）
観音林東　古里 キヨ（88歳）
車門　川原木 トミ（80歳）

●人の動き ＜平成27年8月31日現在／町民生活課調べ＞

男　4,808人（－3）／女　5,024人（－2）

合計 9,832人（－5）／世帯数 3,790（＋2）
※（ ）は前月比

転入　11人（133人）／転出　7人（189人）

出生　4人（32人）／死亡　13人（138人）
※（ ）は1月からの累計

※広報誌内において、お名前が俗字であっても正字で記載される場合がありますので、ご了承ください。

ほっとひといき／編集後記

◆やっぱり『祭』はいいですね！軽米秋まつりの笛や太鼓、元気な掛け声を聞いていると撮る側より参加する側に回りたいなとちょっとだけ思ってしまいます。ちょっとだけですよ!?

そして秋まつりの終わりに合わせたかのように涼しいを飛ばして近頃は一気に肌寒くなってきました。それでも10月もイベントは盛りだくさん。

外の空気はつめた～いですが、あったか～い記事を書けるようにこれからも頑張ります。（信也）

発行／岩手県軽米町　編集／総務課
〒028-6302 九戸郡軽米町大字軽米10-85
電話 0195-46-2111(代)
FAX 0195-46-2335
ホームページ http://www.town.karumai.iwate.jp/